

総務省における ワークライフバランスの推進

総務省では、全ての職員が仕事とプライベート双方の満足度を高めつつ、職員一人ひとりの能力を最大限発揮できる職場環境を整備するため、「働き方改革・業務見直しの取り組み」や「テレワークのさらなる推進」に省を挙げて取り組んでいます。

働き方改革・業務見直しの取り組み

総務省では、2017年に働き方改革推進室を設置し、大臣をはじめ省幹部の強力なリーダーシップの下、働き方改革に積極的に取り組んできました。

2018年1月には、総務省職員有志メンバーで構成される働き方改革チームが結成され、幹部による「働き方宣言の作成」や「定時退庁放送による呼びかけ」等による超過勤務縮減の取り組みや、「多面観察」(いわゆる「360度評価」)の導入、「1 on 1 ミーティング」(上司と部下との間で行う1対1の対話)の実施など、様々な取り組みを進めてきました。

2019年12月からは、働き方改革推進室を「働き方改革・業務見直し推進室」に改組し、全省的な業務見直しを進めるため、RPAの導入やマクロの活用など、有用なツールや好事例の紹介を行う省内勉強会を開催しています。

これらの取り組みがきっかけとなり、「どうしたらもっと働きやすい職場環境になるだろうか」という職員同士の対話が確実に増えてきました。働き方改革の機運が、着実に職場全体に醸成されつつあります。

テレワーク等を活用した理想の働き方の実現

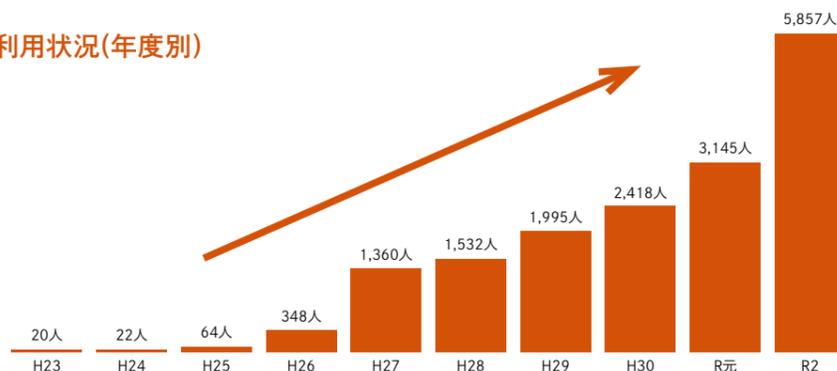
テレワークの活用は、ワークライフバランスの実現に欠かせない要素であるだけでなく、感染症予防対策の一つとして、さらに重要性が増しています。総務省では、これまでもテレワークの活用等を積極的に推進し、環境整備を行ってきたため、コロナ禍においても大きな混乱はみられませんでした。現在も、感染拡大防止のため、職員の7割を目標としてテレワークの活用等を強く働きかけており、昨年度の実施人数(延べ人数)は前年度の約17倍となりました。テレワーク勤務者の増加に伴い、ペーパーレス化のさらなる推進や打ち合わせや会議のオンライン化、業務の仕方そのものを見直す等、より一層の環境整備にも取り組んでいます。

また、フレックスタイム制や介護休暇等、両立支援制度を活用する職員も増加しています。通勤混雑時間帯の通勤を回避するため、始業時間も幅広い時間帯から選択できるようにしました。

総務省は、今後も、育児や介護、自身の障がいなど、様々なバックグラウンドを抱えた職員のみではなく、プライベートを充実させたい職員等、全ての職員のワークライフバランス実現に向けた取り組みを進めていきます。



テレワーク利用状況(年度別)



注1:令和元年度以降の実施人数は、非常勤職員を含む。

注2:人事異動により本省・地方局等それぞれにおいてテレワーク勤務を実施した職員については、重複してカウントをしている。

行政評価局企画課課長補佐

田中 留美 Tanaka Rumi

「いきいきと働くママ」を 息子に伝えたい

育休復帰から約5年。すぐに成長してしまう息子の一瞬一瞬を慈しみ、寄り添うことが私の何よりの希望です。そして、働くからこそ人生そのものが楽しい、そんな自分の姿を息子に見せたいと思いつけてきました。

幼い息子は体調を崩しがちで、また、いろいろなことに関心を示します。当初は付きっきりで世話ができないことに不甲斐なさを感じていましたが、いつも頼っている家族、上司同僚、ママ仲間、保育園、お稽古事の先生などから、直接的に間接的に、より大きな愛情をもらってのびのびと育てていることに気付かされます。世の中が大きく変動する日々、組織としても私個人としても、やりたいこと、やるべきことは際限なく増えていきます。重要なことを見極めやらないことを決める「思い切り」と、自分一人でやり遂げようとせず、上司同僚と豊かな人間関係を構築し、その力をパッチワークのように紡ぎながら「チームとしてより良い成果を出す発想」の大切さ。時間制約がある中でも、いきいきと働くための大切な条件として身にしみて実感しています。



— 「ワーク」と「ライフ」は対立するものではない。「働き甲斐」を感じる、「いきいき」と働けることは、人生を豊かにする大事な要素であるはず—。尊敬する上司の言葉です。育児を通じて得られた幸福感と働き甲斐を循環させながら、まさにこの言葉を総務省において実践中です。

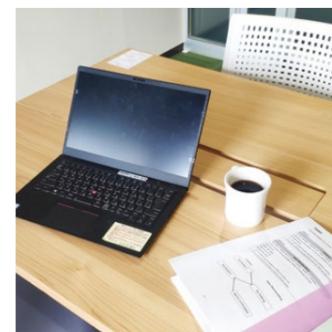
平成9年 4月 総務省(関東管区行政監察局)採用
平成13年 4月 行政評価局行政相談課
平成17年 4月 行政評価局評価監視調査官
平成17年 9月 人事院行政官短期在外研究員(アメリカ)
平成20年 7月 行政管理局企画調整課行政手続・制度調査室調査研究係長
平成21年 7月 行政管理局主査(外務省・防衛省担当)
平成23年 7月 統計専門職(政策統括官付国際統計管理官付)
平成27年 5月 育児休業
平成28年 4月 国際標準分類専門官(政策統括官付統計審査官付)
平成31年 4月 現職

大臣官房秘書課

長尾 北斗 Nagao Hokuto

「ワーク」と「ライフ」の 相乗効果を目指して

霞が関について、皆さんはどのようなイメージを持っていますか?「激務」や「タクシー帰り」といった単語が思い浮かぶ方が多いでしょうか。しかし、実態は少し違います。確かに担当している会議の直前など、業務が立て込む時もありますが、年中忙しく、余暇が全く取れないという部署はほとんどありませんので安心してください。そのような背景もあり、私が入省後にお会いした先輩や同僚職員は、日々の業務だけでなく(もちろん業務に一生懸命取り組んだ上で)テレワークや年次休暇等の制度を活用しながら、趣味や勉強などにも力を入れている方が多い印象です。プライベートの充実が業務効率の改善にも繋がるはずですし、どれだけやりがいのある仕事でも年中仕事ばかりしては息も詰まりますよね。私も毎週水曜日の夜は、いつも定時きっかりで業務を終了し、



官房秘書課が主催している語学研修を受講しています。今はコロナの影響もあり、オンラインでの授業ですが、テレワーク勤務と組み合わせることで自宅から無理なく受講することができています。ぜひ、皆さんも「ワーク」と「ライフ」が相乗効果を生むような、公私共に充実した霞が関ライフを送ってください。



平成28年10月 総務省採用 情報通信国際戦略局情報通信政策課
平成29年 9月 国際戦略局国際政策課
平成30年 4月 総合通信基盤局電波部電波政策課国際周波数政策室(平成30年度語学研修(情報通信関係部局)を受講)
令和元年 7月 大臣官房秘書課(令和2年 度語学研修(大臣官房秘書課)を受講)